

# 災害 そのとき どうなるの??

## 災害時のトイレ

問 下水道課公共下水係 ☎ 95-9912

被災した時に一番困るのがトイレです。大きな災害が発生すると、家の水洗トイレが使えなくなる可能性があります。そのため、市は災害時のトイレ（マンホールトイレ）を新川小学校、中央小学校、大浜小学校、棚尾小学校、東部市民プラザ、鷲塚小学校、西端小学校の7か所に設置しました。

マンホールトイレは想定される最大の地震動を考慮し

て作っておりますが、南海トラフ巨大地震が想定を上回る強さで発生した場合、マンホールトイレが使えない可能性があります。もしもに備えて各家庭で簡易トイレ、携帯トイレを備蓄しておきましょう。



△マンホールトイレ



△多目的マンホールトイレ

お知らせ  
news

## 3月1日(日)～7日(土)は春季全国火災予防運動 急ぐ日も 足止め火を止め 準備よし

問 衣浦東部広域連合消防局予防課 ☎ 63-0136

この運動は、火災が発生しやすい時季を迎えるにあたり、火災予防思想の一層の普及を図ることで、火災の発生を防止し、高齢者を中心とする死者の発生を減少させるとともに、財産の損失を防ぐことを目的として、毎年この時期に実施しているものです。

### ▼知っていますか？地震による火災の過半数は電気が原因という事実

東日本大震災の本震による火災全111件のうち、原因が特定されたものが108件、そのうち過半数が電気関係の出火でした。地震が引き起こす電気火災とは、地震の揺れに伴う電気機器からの出火や、停電が復旧したときに発生する火災のことです。

### ▼電気火災対策には、感震ブレーカーが効果的

感震ブレーカーは、地震発生時に設定値以上の揺れを感知したときに、ブレーカーやコンセントなどの電気を自動的に止める器具です。感震ブレーカーの設置は、不在時やブレーカーを切って避難する余裕がない場合に電気火災を防止する有効な手段です。感震ブレーカーを設置して電気火災から家、地域を守りましょう。

お知らせ  
news

## 3月1日(日)～31日(火)は自殺対策強化月間

問 健康課成人保健係 ☎ 48-3751

### ▼大切な命を守るために、気付いてください“こころのSOS”

ゲートキーパーとは、悩んでいる人に気付き、声をかけ、話を聞いて、必要な支援につなげ、見守ることのできる人のことです。あなたの身近にいる人が、悩んでいる様子なら、まずは優しく声をかけてみてください。

### ▼ライフスタイルはこころの健康にも大切

ストレスと上手につき合うには、まず毎日の生活習慣を整えることが大切です。バランスの取れた食事や良質な睡眠、適度な運動の習慣を維持することが、こころの健康の基礎固めになります。

### ▼ひとりで悩まないで

こころの健康と体の健康は、密接にからみ合っています。繰り返される体の不調は、もしかすると疲れた「こころ」からのサインかもしれません。こころの不調に気付いたら、早めに専門医、相談機関に相談してください。